

# 【内航船の革新的運航効率化実証事業】

予算額：18.5億円

## 建造・実証支援

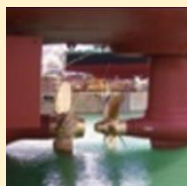
- ◆ 建造・実証費用の一部の1/2以内を補助
- ◆ 1事業の単年度補助額：5億円以内

- ・ **内航船**を対象に、①**ハード技術**（省エネルギー船型、高効率プロペラ、荷役効率化設備、高効率エンジン等）②**ソフト技術**（運航計画・配船計画・荷役の最適化等を可能とする技術）の導入による**省エネ効果の実証**を支援し、内航海運の省エネルギー化を促進。
- ・ また、省エネ技術を導入しつつ、バッテリー等の**非化石エネルギーを使用することが可能な機器**の導入も支援し、非化石エネルギーへの転換を促進。

### ハード技術



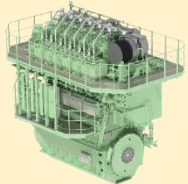
省エネ船型



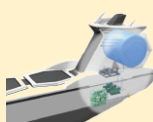
高効率プロペラ



荷役効率化設備



高効率エンジン



水素エンジン  
(燃料供給システムを含む)

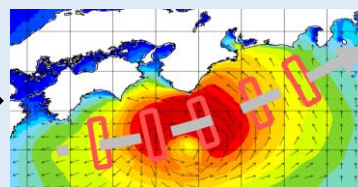


バッテリー

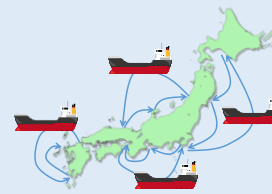
非化石推進機

### ソフト技術

- ・ 海流予測
- ・ 風推算
- ・ 波浪推算



運航計画支援システム



配船計画支援システム

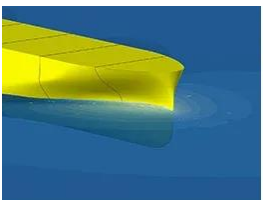


内航海運の**省エネルギー化**と**非化石エネルギーへの転換**を促進

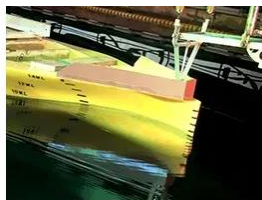
## 船型開発支援

- ◆ 設計費用全額を補助
- ◆ 1事業の単年度補助額：6千万円以内

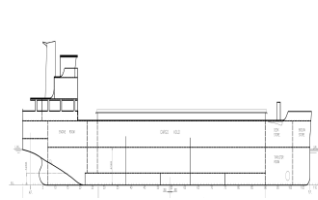
- ・ **内航船**の建造において、広く活用可能な**省エネルギー船型の開発**を支援し、開発した船型等を内航船を建造する**造船・船用事業者等の求めに応じて提供**することで、内航海運における省エネルギー船舶の普及を促進。



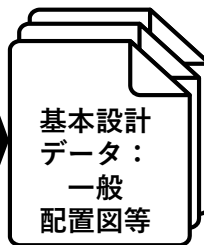
CFD解析による船首波形



水槽試験による船首波形



省エネ船型開発



提供 (Provision)

造船所 (Shipyard)

内航海運の**省エネルギー化**を促進